

日産流 課題解決「V-up」プログラム

～課題の設定・分解・定義のやり方、組織横断チームによる
課題解決のしかた、推進の仕組みを学ぶ～

- 日 時■ 2016年7月22日(金) 13:30～16:30
 ■会 場■ 厚生会館(東京・麹町)
 ■講 師■ 日産自動車株式会社 日産コンサルティング
 シニアコンサルタント 玉浦 賢二 氏

【講師紹介】玉浦賢二氏

東北大学工学部機械系卒業。1978年日産自動車入社。車両の品質保証業務、工場および全社のTQM推進に携わった後、2000年よりV-upプログラムの開発、海外を含む日産グループへの普及拡大に従事。担当部長を経て2007年からV-upエキスパートリーダーとして推進をリード。現在は、日産コンサルティングのシニアコンサルタントとして外部企業へのV-up支援を行っている。品質管理推進功労賞受賞(2013年度、日本品質管理学会)。

◆ 開催にあたって

日産自動車のV字回復、経営革新の成功は、全社にまたがる改革の機会を提案するクロスファンクショナルチーム(CFT)の活動と、中期経営計画達成に向けてさまざま生じる課題を解決していく課題解決プログラム「V-up」が、両輪となって機能したからといえます。

本セミナーでは、日産で培われた「V-up」のノウハウをそのままに、業績に貢献する課題をどのように設定、分解、定義し適切なチームで効率的に解決していくかの手法、仕組み、具体的な進め方が苦心談も含めて紹介されます。また、玉浦賢二氏は2012年から外部企業にV-upを使つての支援をしており、企業の悩みとV-upコンサルタントから見たその対処法についても言及されます。本セミナーを通して企業発展のためのキーファクターである「課題解決力の向上」と「ホワイトカラーの生産性向上」実現のヒントを得ていただき、各社の経営革新、課題解決、戦略実行にお役立てください。

《プログラム詳細は裏面をご覧ください》

●受講料●1名(税込み、資料代含む)

正会員	34,560円	本体価格32,000円
一般	37,800円	本体価格35,000円

●申込書に所定事項ご記入の上、下記担当者あてにFAXいただくか、当会ホームページからお申し込みください。後日(開催日1週間～10日前までに)受講票・請求書をお送り致します。

●申込書をFAXにてご送信いただく際は、FAX番号をお間違えないようご注意ください。

●会員企業のご確認、その他セミナーに関するご不明な点につきましては、当会ホームページより〔TOP〕→〔公開セミナー〕→〔よくあるご質問〕をご参照下さい。

●最少催行人数に満たない場合は、中止とさせていただきます。

一般社団法人企業研究会

担当：井堀 E-mail ibori@bri.or.jp

〒102-0083

東京都千代田区麹町 5-7-2 麹町 M-SQUARE 2F

TEL 03-5215-3550 FAX 03-5215-0951

一般社団法人企業研究会 セミナー事務局宛 FAX 03-5215-0951

*当会ホームページ (http://www.bri.or.jp) からもお申込みいただけます。

*FAXでご送信いただく際は、FAX番号をお間違えないようご注意ください。

161365-0101		※		2016.7.22	
申込書		日産流 課題解決 Vupプログラム			
会社名	フリガナ				
住所	〒				
ご氏名	フリガナ	所属	役職		
TEL	FAX				
E-mail					

*お客様の個人情報は、本研究会に関する確認・連絡、および当会主催のご案内をお送りする際に利用させていただきます。

日産流 課題解決 V-up プログラム

～課題の設定・分解・定義のやり方、組織横断チームによる課題解決のしかた、推進の仕組みを学ぶ～

7月22日(金)

● プログラム ●

13:30

1. 日産自動車の概要

2. V-up 導入の背景

全体最適な取り組みの成功体験(CFT 活動)

クロスファンクショナルな取り組みのやり方を全組織、全社員に提供(V-up)

3. V-up プログラムとは

構成要素

…課題設定プロセス、課題解決プロセス、ツール、しかけ

課題解決の考え方と実現方法

…全体最適、Win-Win、コンセンサス、コンフリクトの対処方法

取り組み課題(例)

4. 課題解決活動継続のポイント

トップの意向、企業の歴史、PDCA、企業の価値観、経験値の蓄積、人の育成

5. 共通言語としての V-up

共通言語のメリット、ダイバーシティー

事例

6. 外部企業における V-up

多くの企業が抱えている悩み

実施事例

7. V-up による成果

定量的成果

…金額、件数、人材育成人数

定性的成果

…リーダーの育成、日産ウェイ(行動指針)の実践、ロジカルシンキング

8. まとめ

戦略を遂行する力(戦略駆動力)

* 質疑応答

V-up プログラム

V-up プログラムは、約 1 年間の開発期間を経て、2001 年に導入しその後 15 年間にわたり、日産自動車の社内課題解決プログラムとして、グローバルで浸透し、日産の経営計画達成に大きく貢献をしているマネジメントツールです。

本プログラムは、社員自らが、部署の壁を乗り越えて、部分最適ではない課題解決策を検討することを最大の特徴としています。

コーヒー
ブレイク

16:30